

平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月28日

上場取引所 東

上場会社名 東和フードサービス株式会社  
 コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務グループ次長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岸野 禎則  
 (氏名) 石塚 実  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5843-7666  
 平成26年12月19日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第2四半期の業績(平成26年5月1日～平成26年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	4,991	0.6	185	△19.0	187	△17.5	92	△28.1
26年4月期第2四半期	4,964	1.4	228	△20.3	226	△17.5	128	△8.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第2四半期	45.26	—
26年4月期第2四半期	62.95	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	6,795		4,274			62.9
26年4月期	7,253		4,213			58.1

(参考)自己資本 27年4月期第2四半期 4,274百万円 26年4月期 4,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	10.00	—	15.00	25.00
27年4月期	—	10.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	3.3	612	15.4	620	16.7	343	30.7	168.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年4月期2Q	2,046,600 株	26年4月期	2,046,600 株
27年4月期2Q	8,635 株	26年4月期	8,590 株
27年4月期2Q	2,037,995 株	26年4月期2Q	2,038,029 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における外食業界は、個人消費意欲に改善傾向が見られるものの、円安進行による原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇、台風等の天候不順の影響により、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社は「味覚とサービスを通して都会生活に安全で楽しい食の場を提供する」という経営理念のもと、「客数回復、ファンづくり、質の経営」を最重要課題として、コンセプトの「あったら楽しい」店づくり、「手の届く贅沢」の提供を具現化するため、高付加価値経営に重点を置いた個店経営を展開してまいりました。

メニュー・販売促進面では、1年を八季に分け、季節の変化にきめ細かく対応したシーズンメニューの提案や、高さや色彩に拘った盛り付けによる「おいしそう」という期待感の演出等により、お客様への訴求力を高めてまいりました。

接客・サービス面では、引き続き、お客様からより多くの「ありがとう」をいただけるような印象に残る自主的なサービスの実施や、ロールプレイングを中心とした集合研修の実施により、リピーターとなるファンの開拓につなげております。

また、食品安全に関わる社内の基準構築を図るため、ISO22000（食品安全マネジメントシステム）認証取得に向けて、引き続き全社一丸となって取り組んでおります。

出店等の状況につきましては、平成26年8月に、「ココナッツカフェ柏高島屋ステーションモール店」を「椿屋カフェ」へ業態変更し、「椿屋」のブランド効果により、売上、客数共に大幅増となっております。

以上の結果、第2四半期会計期間の売上高は、25億13百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は1億9百万円（同3.0%減）、経常利益は1億11百万円（同0.7%減）となりましたが、第2四半期累計期間については、売上高は、49億91百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は1億85百万円（同19.0%減）、経常利益は1億87百万円（同17.5%減）となりました。

なお、第3四半期に入り、平成26年11月に「銀座椿屋珈琲横浜ポルタ店」を期間限定オープンしたのを皮切りに、「椿屋カフェコレットマーレみなとみらい店」を新規出店、また、改装のため休業していた「ダッキーダック相模大野ステーションスクエア店」及び「ダッキーダックキッチン聖蹟桜ヶ丘店」もそれぞれ11月にリニューアルオープン致しました。更に12月には、銀座2丁目に「椿屋珈琲店 銀座新館」を新規出店いたします。

これら新店効果や質を高めたメニュー政策により11月度の業績は上向いており、12月以降も前年をクリアすることが見込まれます。

また、11月より組織変更を行い、生産拠点であるコンフェクショナリー（ケーキ・焼き菓子製造）、カミサリー（生麺・ソース・ドレッシング製造）、椿屋ロースター（コーヒー豆焙煎）を集約し、「生産カンパニー」を発足致しました。今後は、主要品目を自社で生産しているという当社の特徴を最大限に活かし、業務の効率化・コスト削減による生産カンパニーの収益力強化に取り組んでまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期会計期間における流動資産は、前事業年度末に比べて3億38百万円減少し、19億96百万円となりました。これは、現金及び預金が3億30百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億18百万円減少し、47億98百万円となりました。これは、差入敷金が41百万円、有形リース資産が29百万円、それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べて4億57百万円減少し、67億95百万円となりました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間における流動負債は、前事業年度末に比べて5億4百万円減少し、12億86百万円となりました。これは、一年内返済予定の借入金が3億13百万円、未払法人税等が1億21百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて13百万円減少し、12億34百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて5億18百万円減少し、25億21百万円となりました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間における純資産合計は、前事業年度末に比べて60百万円増加し、42億74百万円となりました。これは、利益剰余金が61百万円増加したことなどによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、14億59百万円で前事業年度末に比較して3億30百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況と主な内容は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億22百万円(前年同期は4億43百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費が2億53百万円、税引前四半期純利益が1億58百万円あったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億39百万円(前年同期は2億16百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億67百万円あったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4億14百万円(前年同期は3億7百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が4億5百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月30日に公表いたしました、平成27年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,789,996	1,459,906
売掛金	70,141	74,435
ＳＣ預け金	208,659	199,740
商品及び製品	29,083	36,702
原材料及び貯蔵品	69,006	68,240
前払費用	107,704	110,470
繰延税金資産	39,924	39,924
その他	21,319	7,374
貸倒引当金	△451	△327
流動資産合計	2,335,383	1,996,468
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,051,903	1,008,429
工具、器具及び備品（純額）	163,858	160,462
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産（純額）	380,367	350,478
その他（純額）	6,144	2,739
有形固定資産合計	2,720,873	2,640,709
無形固定資産	13,004	13,368
投資その他の資産		
長期前払費用	16,084	24,107
繰延税金資産	142,955	143,319
差入保証金	501,154	495,302
敷金	1,497,305	1,455,810
その他	26,261	26,044
貸倒引当金	△1	0
投資その他の資産合計	2,183,759	2,144,583
固定資産合計	4,917,637	4,798,661
資産合計	7,253,021	6,795,129
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,339	229,533
1年内返済予定の長期借入金	503,192	189,588
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
リース債務	153,350	148,525
未払金	349,102	280,352
未払賞与	107,528	102,922
未払費用	69,481	69,113
未払法人税等	199,410	77,909
未払消費税等	65,861	86,481
預り金	9,609	10,386
店舗閉鎖損失引当金	1,163	-
資産除去債務	4,600	-
リース資産減損勘定	60	34
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,791,746	1,286,894

固定負債		
社債	370,000	325,000
長期借入金	231,742	289,350
リース債務	260,382	233,406
退職給付引当金	269,693	270,204
資産除去債務	95,312	95,225
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,248,114	1,234,171
負債合計	3,039,860	2,521,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,871,587	2,933,265
自己株式	△19,098	△19,215
株主資本合計	4,208,839	4,270,400
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,320	3,664
評価・換算差額等合計	4,320	3,664
純資産合計	4,213,160	4,274,064
負債純資産合計	7,253,021	6,795,129

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	4,964,430	4,991,877
売上原価	1,349,551	1,353,370
売上総利益	3,614,879	3,638,506
販売費及び一般管理費	3,386,314	3,453,437
営業利益	228,565	185,069
営業外収益		
受取利息	118	116
受取配当金	359	337
受取家賃	11,810	12,660
広告料収入	3,600	-
その他	2,069	3,744
営業外収益合計	17,957	16,859
営業外費用		
支払利息	15,985	11,118
不動産賃貸原価	1,277	1,214
その他	2,265	2,394
営業外費用合計	19,529	14,726
経常利益	226,993	187,201
特別損失		
固定資産除却損	4,262	10,835
減損損失	-	18,024
特別損失合計	4,262	28,860
税引前四半期純利益	222,731	158,341
法人税等	94,427	66,093
四半期純利益	128,304	92,247

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)	当事業年度 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	222,731	158,341
減価償却費	224,992	253,764
減損損失	-	18,024
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,010	511
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△124
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△1,163
受取利息及び受取配当金	△477	△453
支払利息	15,985	11,118
固定資産除却損	4,262	10,835
売上債権の増減額(△は増加)	1,555	4,624
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,186	△6,852
前払費用の増減額(△は増加)	4,079	△3,074
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,865	2,065
長期前払費用の増減額(△は増加)	△1,915	△8,023
仕入債務の増減額(△は減少)	1,799	△6,806
未払金の増減額(△は減少)	△3,965	△41,962
未払賞与の増減額(△は減少)	△1,680	△4,606
未払費用の増減額(△は減少)	△10,204	698
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	6,251	△1,555
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,104	24,484
預り金の増減額(△は減少)	△573	776
その他	△5,870	9,887
小計	479,089	420,510
利息及び配当金の受取額	319	330
利息の支払額	△15,460	△11,876
法人税等の支払額	△19,957	△186,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,990	222,926
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△206,469	△167,840
固定資産の除却による支出	△745	△1,872
貸付金の回収による収入	740	300
差入保証金の差入による支出	△1	-
差入保証金の回収による収入	5,851	5,851
敷金の差入による支出	△35,162	△36,660
敷金の回収による収入	24,797	78,154
資産除去債務の履行による支出	△5,373	△16,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,362	△139,010
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	△148,230	△405,996
社債の償還による支出	△45,000	△45,000
リース債務の返済による支出	△83,739	△83,971
自己株式の取得による支出	-	△116
配当金の支払額	△30,447	△28,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307,417	△414,005
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△79,788	△330,089
現金及び現金同等物の期首残高	2,006,029	1,789,996
現金及び現金同等物の期末残高	1,926,240	1,459,906

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。